

2022年8月11日

牛塚貴博

Mann-Kendall 検定プログラムの使用法

【注意】

本プログラムの解析結果を論文などで使用する場合には、下記サイトで指定されている引用を記載する必要がある。

Pymannkendall : <https://pypi.org/project/pymannkendall/>

Hussain et al., (2019). pyMannKendall: a python package for non parametric Mann Kendall family of trend tests.. Journal of Open Source Software, 4(39), 1556,
<https://doi.org/10.21105/joss.01556>

使い方

1. 共有フォルダから Mann-Kendall_test というフォルダごとパソコンにコピーする。
2. 検定したいデータを input というフォルダに入っている input_sample.csv と同じ形式の csv ファイルで用意する。ファイル名は input.csv として input に入れる。
3. result というフォルダに jpg, png, svg というフォルダが存在することを確認する。
4. run.cmd をダブルクリックする。
5. result フォルダに結果が出力される。result.csv には検定の結果が格納されており, jpg, png, svg には入力したデータの経年変化や度数分布を示すグラフが示される。

参考 : Pymannkendall

<https://pypi.org/project/pymannkendall/>

ソルバーとして使用している Pymannkendall というプログラムについては上記サイトに説明がある。このサイトでは Mann-Kendall 検定から派生した検定方法についても記載がある。本プログラムの解析結果を論文などで使用する場合には、上記サイトで指定されている引用を記載する必要がある。